



TOPICS

VOL.220

オフィス 人事サポート

代表・特定社会保険労務士 山口 徹実

URL <http://co-js.com/>

E-mail info@co-js.com

TEL 028-643-8000 FAX 028-643-8530



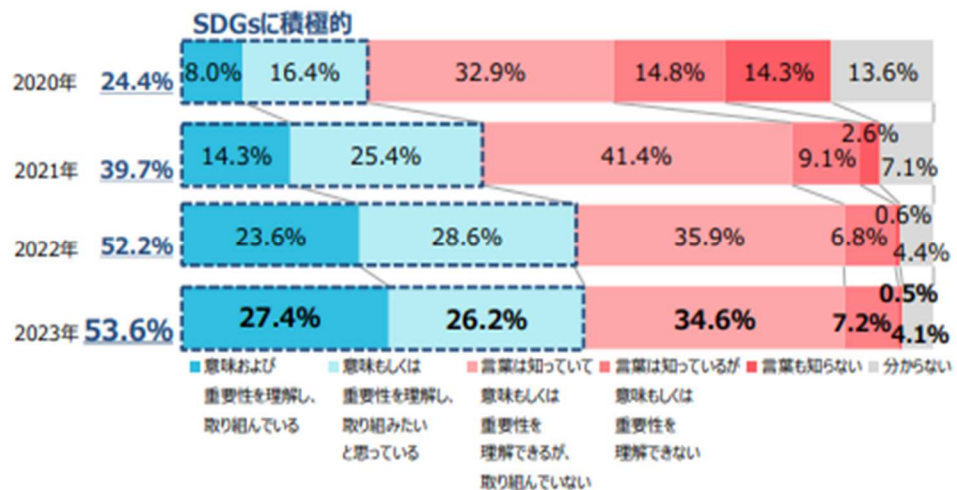
SDGs に関する企業の意識調査（2023年版）から



今年の7月に、（株）帝国データバンクからSDGs（持続可能な開発目標）に関する企業見解の調査結果（調査期：2023年6月、有効回答社数：約1万1千社）が発表されました。その結果では、SDGsに積極的な企業は約54%、規模別では中小企業が初の50%超えとなりました。その一部を抜粋してレポートします。

1. SDGs への理解・取り組み、及びSDGsに積極的な企業割合

SDGsの達成に向けた取り組みへの意識は前年より拡大し、50%を超える企業が前向きな姿勢を示す結果となりました。その一方で、SDGsを認知しつつも取り組んで



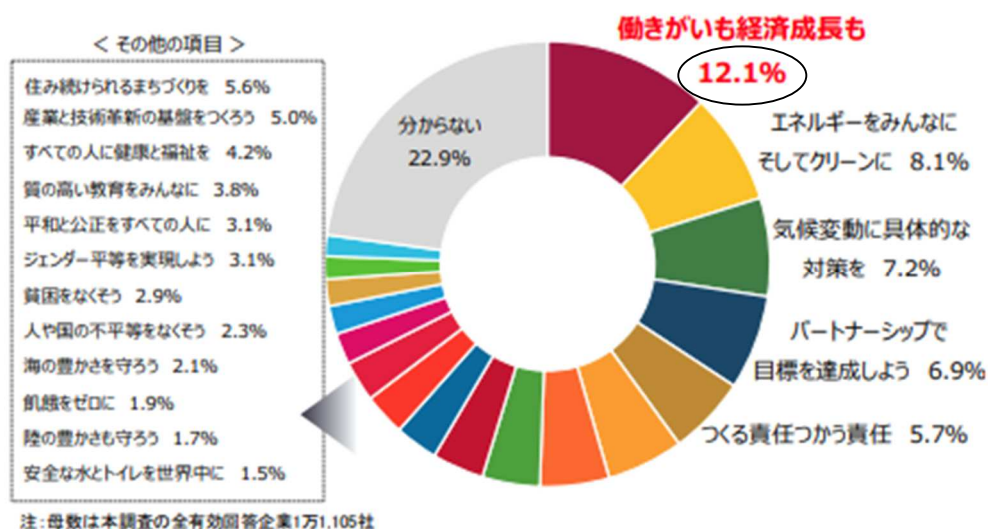
いない企業は約42%であり、「言葉も知らない」「分からない」の合計は約5%と減少し、SDGsというワードが社会に浸透してきた様子が見てとれます。規模別にみると、「大企業」では約72%、「中小企業」では約50%、その内の「小規模企業」でも約43%と、規模の小さい企業でもSDGsに取り組む姿勢が高まってきています。



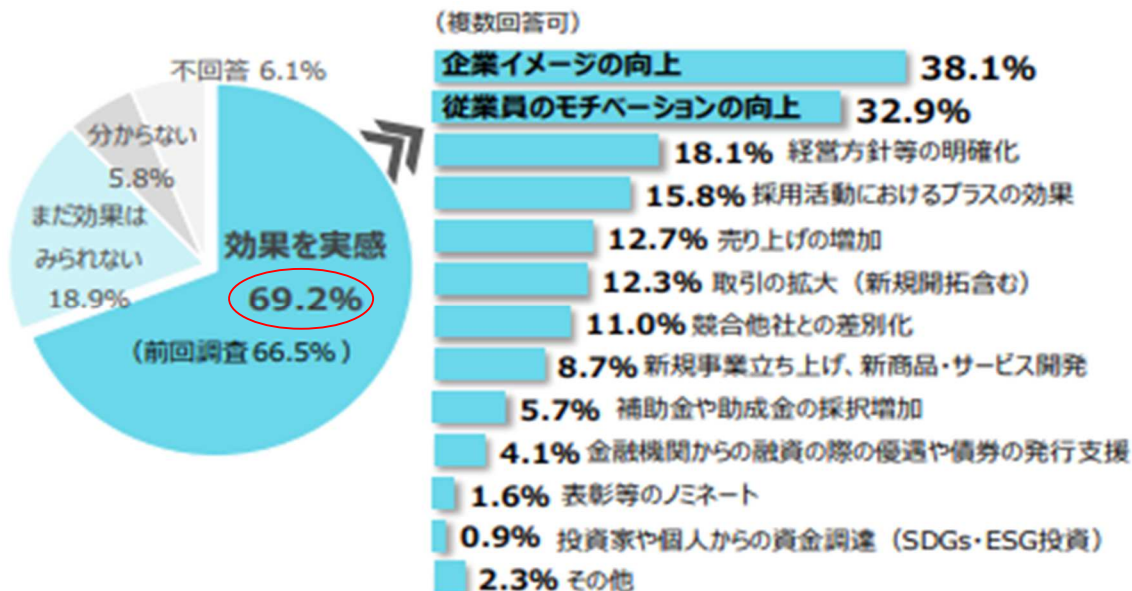
2. SDGs 17目標の内、今後最も取り組みたい項目

SDGsの17目標の内、今後最も取り組みたい項目は、現在最も力を入れている項目と同様「働きがいも経済成長も」が約

12%でトップ、次いで、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「気候変動に具体的な対策を」、「つくる責任使う責任」が上位に並びました。



3. SDGs 取り組みによる効果



SDGs 取り組みへの『効果を実感』している企業の割合は約70%。効果として「企業イメージの向上」がトップ、次いで「従業員のモチベーションの向上」、「経営方針等の明確化」、「採用活動におけるプラスの効果」、「売り上げの増加」が続きました。これは、社会課題の解決と企業の成長は両立できることを示しています。

『SDGs に取り組む企業の約70%が取り組み効果を実感しており、その取り組みは社会課題解決への貢献だけでなく、企業価値の向上やビジネスチャンスの獲得、引いては業績の改善にも結びつく。一方で、中小企業からは「どのように対応すれば良いかわからない」や「人材面・費用面での余裕がない」といった声も依然として多く聞かれた。しかし、SDGs への取り組みには、「ペーパーレス化」や「ワーク・ライフ・バランスの推進」などといった多額の費用や新たな人材を投入せずして推進できるものもあり、「気軽に出来ることから始めてみると良いのではないか」とも提言しています。

以上